

平成27年度 細胞診専門医資格認定試験

<細胞像問題>

問題 1 74歳、女性。帯下、子宮腔部、ブルーム擦過

1. NILM (萎縮性膣炎)
2. LSIL (軽度異形成)
3. HSIL (上皮内癌)
4. 扁平上皮癌
5. 腺癌

問題 2 44歳、女性。不正出血、子宮腔部、綿棒擦過

1. NILM (慢性頸管炎)
2. LSIL (軽度異形成)
3. HSIL (高度異形成)
4. 扁平上皮癌
5. 粘液性腺癌

問題 3 49歳、女性。不正出血、子宮体部、ウテロブラシ擦過

1. 増殖期内膜
2. 分泌期内膜
3. 類内膜腺癌 G1
4. 平滑筋肉腫
5. 癌肉腫

問題 4 32歳、女性。検診、子宮腔部、サイトピック擦過

1. NILM (トリコモナス感染)
2. NILM (カンジダ感染)
3. NILM (サイトメガロウイルス感染)
4. LSIL (軽度異形成)
5. HSIL (高度異形成)

問題 5 70歳、女性。不正出血、膣壁、綿棒擦過

1. 萎縮性膣炎
2. 膣上内腫瘍
3. 扁平上皮癌
4. 悪性黒色腫
5. 腺癌(大腸癌浸潤)

問題 6 44 歳、女性。不正出血、子宮頸管、ブラシ擦過

1. NILM (頸管腺細胞)
2. NILM (扁平上皮化生細胞)
3. LSIL (軽度異形成)
4. AIS (上皮内腺癌)
5. 扁平上皮癌

問題 7 49 歳、女性。腹部腫瘤、卵巣腫瘤、捺印

1. ブレンナー腫瘍
2. 顆粒膜細胞腫
3. 漿液性腺癌
4. 粘液性腺癌
5. 明細胞腺癌

問題 8 39 歳、女性。腹部膨満感、卵巣腫瘤、捺印

1. 黄体嚢胞
2. 子宮内膜症性嚢胞
3. 類内膜腺癌 G3
4. 明細胞腺癌
5. 悪性黒色腫

問題 9 58 歳、女性。不正出血、子宮体部、エンドサイト

1. 修復細胞
2. 類内膜腺癌 G1
3. 類内膜腺癌 G3
4. 粘液性腺癌
5. 明細胞腺癌

問題 10 45 歳、女性。不正出血、子宮頸管、ブラシ擦過

1. LSIL (軽度異形成)
2. HSIL (中等度異形成)
3. HSIL (上皮内癌)
4. 扁平上皮癌
5. 腺癌

問題 11 73 歳、男性。胸部 X 線異常陰影、気管支擦過

- 1 反応性リンパ球
2. 基底細胞増生
3. 腺癌
4. 小細胞癌
5. 悪性リンパ腫

問題 12 62 歳、女性。喘息、気管支鏡下吸引痰

1. 花粉
2. アスベスト小体
3. コレステリン結晶
4. クルシュマン螺旋体
5. シャルコライデン結晶

問題 13 58 歳、女性。胸部 X 線異常影、気管支擦過

1. 線毛上皮増生
2. 硬化性血管腫
3. カルチノイド
4. 小細胞癌
5. 腺癌

問題 14 70 歳、男性。上顎洞内腫瘍、穿刺吸引

1. 真菌症（アスペルギルス）
2. 横紋筋肉腫
3. 腺癌
4. 扁平上皮癌
5. 未分化癌

問題 15 68 歳、男性。血尿、自然尿

1. 反応性尿路上皮
2. Decoy 細胞
3. 尿路上皮癌(低異型度)
4. 尿路上皮癌(高異型度)
5. 腺癌

問題 16 75 歳、男性。検診、自然尿

1. 反応性尿路上皮
2. 尿路上皮癌(低異型度)
3. 上皮内癌
4. 扁平上皮癌
5. 淡明細胞型腎細胞癌

問題 17 69 歳、女性。検診で胃腫瘤指摘、超音波内視鏡下穿刺

1. 腺腫
2. 腺癌
3. カルチノイド
4. 扁平上皮癌
5. 胃消化管間質腫瘍 (GIST)

問題 18 54 歳、男性。 腹水貯留、穿刺吸引

1. 反応性中皮
2. 組織球
3. 印環細胞癌
4. 扁平上皮癌
5. 悪性中皮腫

問題 19 43 歳、女性。乳腺腫瘤、穿刺吸引

1. 乳腺症
2. 乳管内乳頭腫
3. 充実腺管癌
4. 浸潤性微小乳頭癌
5. 髓様癌

問題 20 50 歳、女性。甲状腺腫脹、穿刺吸引

1. 慢性甲状腺炎
2. 腺腫様甲状腺腫
3. 乳頭癌
4. 未分化癌
5. 髓様癌

問題 21 52 歳、女性。 耳下腺腫瘍、穿刺吸引

1. 多形腺腫
2. ワルチン腫瘍
3. 粘表皮癌
4. 腺様嚢胞癌
5. 唾液腺導管癌

問題 22 22 歳、男性。 頭痛、トルコ鞍部腫瘍、捺印

1. 頭蓋咽頭腫
2. 下垂体腺腫
3. 血管芽腫
4. 髄膜腫
5. 膠芽腫

問題 23 69 歳、女性。 左胸水貯留、穿刺吸引

1. 反応性中皮
2. 組織球
3. 腺癌
4. 扁平上皮癌
5. 悪性中皮腫

問題 24 10 歳、女兒。 右膝の痛み、右大腿骨遠位端腫瘍、穿刺吸引

1. 骨軟骨腫
2. 巨細胞腫
3. ユーイング肉腫
4. 骨肉腫
5. 軟骨肉腫

問題 25 87 歳、男性。 舌縁部白斑、擦過

1. カンジダ感染
2. 白板症
3. 軽度異形成
4. 高度異形成
5. 扁平上皮癌

<筆記問題>

問題 26 日本臨床細胞学会認定施設に対する精度管理ガイドラインについて正しいのはどれか。

1. 報告書の保存期間は1年間を基本とする。
2. 細胞検査士は常勤であることが必須である。
3. 細胞診専門医は常勤であることが必須である。
4. 細胞検査士の1日の検鏡枚数は120枚を上限とする。
5. 陰性標本の5%以上において細胞診でのダブルチェックを実施するように努める。

問題 27 検体の採取と処理について正しいのはどれか。

1. 脳腫瘍には穿刺吸引標本が適している。
2. 胆汁は採取後検体処理までの間冷蔵庫に保存する。
3. 体腔液は被験者を1時間安静にした後に採取する。
4. 気管支擦過法に比べ経皮的肺針生検は合併症が少ない。
5. 穿刺吸引細胞診施行時は穿刺針に陰圧がかかった状態で針を抜く。

問題 28 細胞診の染色について 誤っているのはどれか。

1. ギムザ染色では塗抹後直ちに乾燥させる。
2. ギムザ染色では異染性（メタクロマジー）を示す。
3. ギムザ染色では細胞の剥離はパパニコロウ染色に比べ少ない。
4. パパニコロウ染色では塗抹後直ちに95%エタノールで固定する。
5. パパニコロウ染色ではオレンジGとエオジンの2種類の色素を使用する。

問題 29 悪性判定の基準として 誤っているのはどれか。

1. 相互封入像
2. 核縁の不整
3. 核小体の腫大
4. 核クロマチンの増量
5. 核・細胞質比(N/C比)の減少

問題 30 誤っている組み合わせはどれか。

- | | |
|------------------------------------|----------------|
| 1. PAS 反応 | — 多糖類の染色 |
| 2. セルブロック法 | — 細胞転写法 |
| 3. ポリメラーゼ連鎖反応 (PCR) | — 核酸の増幅 |
| 4. 蛍光 in situ hybridization (FISH) | — 染色体転座 |
| 5. フローサイトメトリー (FCM) | — 血球細胞表面マーカー解析 |

問題 31 対策型子宮がん検診について正しいのはどれか。

1. 妊娠中は施行しない。
2. 対象年齢は 20 歳からである。
3. HPV 単独検診が推奨されている。
4. 綿棒による細胞採取が推奨されている。
5. 近年日本での検診受診率は欧米と同等である。

問題 32 ベセスダシステム 2001 について正しいのはどれか。

1. ASC-H 判定は HPV 検査が推奨される。
2. 子宮内膜細胞診もベセスダシステムを用いる。
3. 頸管腺細胞のみられない標本は不適正と判定する。
4. HPV 感染に伴う扁平上皮細胞の変化は LSIL と判定する。
5. 微小浸潤扁平上皮癌を推定する場合は HSIL と判定する。

問題 33 子宮頸部上皮内腺癌の細胞像について正しいのはどれか。

1. 腫瘍性背景を示す。
2. 羽毛状配列を示す。
3. 核の大小不同が著しい。
4. 大型の核小体が出現する。
5. 結合性の乏しい細胞が出現する。

問題 34 子宮内膜の細胞像について正しいのはどれか。

1. 増殖期では核クロマチンは不均等分布を示す。
2. 分泌期内膜細胞は明るい細胞質を有する。
3. 核分裂像が認められれば陽性と判定する。
4. 類内膜腺癌 G1 は G3 に比べ細胞の結合性が弱い。
5. 明細胞腺癌では砂粒体が認められる。

問題 35 卵巣腫瘍の細胞像について 誤っているのはどれか。

1. ブレンナー腫瘍 — hobnail cell
2. 卵黄嚢腫瘍 — hyaline globule
3. 漿液性腺癌 — psammoma body
4. 顆粒膜細胞腫 — Call-Exner body
5. ディスジャーミノーマ — two cell pattern

問題 36 絨毛癌の細胞像について 誤っている のはどれか。

1. 出血性背景を示す。
2. 核の多形性が著しい。
3. 核小体は不明瞭である。
4. 大型の異型細胞が出現する。
5. クロマチンは粗大顆粒状を示す。

問題 37 肺癌集団検診における喀痰細胞診判定基準について 誤っている のはどれか。

1. A 判定: 喀痰中にリンパ球を認めない。
2. B 判定: 軽度異型扁平上皮細胞が含まれる。
3. C 判定: 追加検査に喀痰検査を行う。
4. D 判定: 直ちに精密検査を行う。
5. E 判定: 精密検査で癌がみつからなくても嚴重な追跡を行う。

問題 38 肺の細胞診について正しい組み合わせはどれか。

- | | | |
|---------------|---|----------|
| 1. ラインケ結晶 | — | 塵肺症 |
| 2. アミロイド小体 | — | 珪肺症 |
| 3. クルシュマン螺旋体 | — | 気管支喘息 |
| 4. ラングハンス型巨細胞 | — | 好酸球性肉芽腫 |
| 5. ランゲルハンス細胞 | — | サルコイドーシス |

問題 39 肺腫瘍と細胞像の組み合わせで 誤っている のはどれか。

- | | | |
|-----------|---|--------|
| 1. 扁平上皮癌 | — | 異常角化細胞 |
| 2. 小細胞癌 | — | 裸核状細胞 |
| 3. 腺癌 | — | 中心性核 |
| 4. 腺様嚢胞癌 | — | 粘液球 |
| 5. 大腸癌肺転移 | — | 柵状配列 |

問題 40 セミノーマの特徴として正しいのはどれか。

1. 管状構造
2. 出血背景
3. 軟骨形成
4. Shuller Duval body
5. two cell pattern

問題 41 高異型度尿路上皮癌の細胞像について 誤っている のはどれか。

1. 検出感度は低異型度より高い。
2. 出血壊死性背景である。
3. 結合性の低下をみる。
4. 高度の大小不同をみる。
5. Decoy 細胞が特徴的である。

問題 42 肝細胞癌の細胞像について 誤っている ものはどれか。

1. 顆粒状細胞質
2. 細胞質内粘液
3. 細胞質内脂肪空胞
4. 細胞質内球状硝子体
5. 細胞質内マロリー小体

問題 43 乳腺腫瘍の細胞像について正しいのはどれか。

1. 乳管内乳頭腫では腫瘍細胞が孤立性に出現する。
2. 線維腺腫では背景に間質細胞がみられない。
3. 非浸潤性乳管癌では細胞集塊に筋上皮細胞はみられない。
4. 髄様癌では背景に著明なリンパ球浸潤を認める。
5. 悪性葉状腫瘍では上皮成分が欠如する。

問題 44 甲状腺病変の細胞像として正しい組み合わせはどれか。

1. 橋本病 - 好中球背景
2. 腺腫様甲状腺腫 - アミロイド物質
3. 濾胞癌 - ローピーコロイド
4. 乳頭癌 - 砂粒小体
5. 未分化癌 - 核内細胞質封入体

問題 45 ヘルペス感染の細胞診像について 誤っている のはどれか。

1. 多核細胞
2. 核内封入体
3. 核の圧排像
4. すりガラス状核
5. コーヒー豆状核

選択問題A

問題 46 HPV 感染について 誤っている のはどれか。

1. HPV18 型は腺癌の発生に関与する。
2. コイロサイトの存在は HPV 感染に伴う変化である。
3. HPV6 型・11 型は尖圭コンジローマの発生に関与する。
4. HPV58 型は最小偏倚型粘液性腺癌の発生に関与している。
5. HPV - DNA 検査は細胞診に比べ CIN2 以上の検出感度が高い。

問題 47 子宮頸部細胞診について正しいのはどれか。

1. 上皮内癌は HSIL に相当する。
2. 疣状癌は核異型が著明である。
3. クラミジア感染症では核内封入体を形成する。
4. ヘルペス感染では核に smudge 様変化がみられる。
5. 排卵期では細胞成熟指数 (M. I.) は左方移動を示す。

問題 48 子宮頸部上皮内癌の細胞像について 誤っている のはどれか。

1. 核の緊満感が認められる。
2. N/C 比は 80%以上である。
3. 核縁不整や多形性が著しい。
4. 深層型の異型細胞が主体となる。
5. 核は濃染し核小体は不明瞭である。

問題 49 婦人科細胞診について正しいのはどれか。

1. 内膜細胞診は月経時施行できない。
2. 腹水細胞診疑陽性は陽性として報告する。
3. 漿液性腺癌は内膜細胞診で診断できない。
4. 内膜細胞診は体癌検診として国際的に用いられている。
5. 腹水細胞診は FIGO2008 年では体癌期別分類に関与しない。

問題 50 卵巣腫瘍の細胞像について正しいのはどれか。

1. 漿液性腺癌は平面状配列を示す。
2. 粘液性腺癌は核周囲明庭が著しい。
3. 明細胞腺癌はロゼット形成を示す。
4. ブレンナー腫瘍では核縦溝がみられる。
5. 顆粒膜細胞腫は細胞異型が著名である。

選択問題B

問題 46 誤っている 組み合わせはどれか。

1. チールニールセン染色 —— 結核菌
2. グロコット染色 —— ピロリ菌
3. グラム染色 —— 肺炎球菌
4. ヒメネス染色 —— レジオネラ症
5. PAS 染色 —— アスペルギルス症

問題 47 35 歳男性。肉眼的血尿。自然尿の細胞診で腺系の異型細胞を認めた。

最も考えられるのはどれか。

1. 膀胱炎
2. 尿管結石
3. 腎盂癌
4. 尿膜管癌
5. 前立腺癌

問題 48 乳腺で浸潤性小葉癌を疑う指標になるものはどれか。

1. 粘液
2. 双極裸核
3. 泡沫細胞
4. 数珠状配列
5. 石灰化小体

問題 49 体腔液細胞診で中皮腫と腺癌の鑑別に 有用とならない 免疫染色はどれか。

1. CEA
2. D2-40
3. MOC31
4. Calretinin
5. Cytokeratin

問題 50 尋常性天疱瘡の細胞像について正しいのはどれか。

1. ツァンク細胞
2. アスベスト小体
3. 木目込み状配列
4. コレステリン結晶
5. シャルコー・ライディン結晶

選択問題C

問題 46 前癌状態はどれか。

1. 白板症
2. 紅板症
3. 上皮内癌
4. 口腔扁平苔癬
5. 尋常性天疱瘡

問題 47 Epstein-Barr Virus 感染と最も関連する腫瘍はどれか。

1. 腺様嚢胞癌
2. Warthin 腫瘍
3. Burkitt リンパ腫
4. びまん性大細胞型リンパ腫
5. TALP (tumor-associated lymphoid proliferation) を伴った粘表皮癌

問題 48 我が国における口腔扁平上皮癌の好発部位はどこか。

1. 上顎歯肉
2. 下顎歯肉
3. 舌
4. 頬粘膜
5. 口蓋

問題 49 好酸性円柱状細胞とリンパ球の two cell pattern が観察されるのはどれか。

1. 多形腺腫
2. 粘表皮癌
3. Warthin 腫瘍
4. 悪性リンパ腫
5. エナメル上皮腫

問題 50 口腔疣贅癌について 誤っている のはどれか。

1. 頸部リンパ節への転移の頻度が高い。
2. 擦過細胞診では錯角化細胞が採取される。
3. 組織診断で分化がよいため乳頭腫との鑑別が必要である。
4. 疣贅癌の中に扁平上皮癌の成分を伴うものがある。
5. 疣贅型黄色腫、乳頭型扁平上皮癌との鑑別が必要である。

<鏡検問題> ①年齢・性別 ②臨床情報 ③検体・採取法
総合科

問題 1 ①45歳・女性 ②検診 ③子宮腔部・ブラシ擦過

1. NILM (扁平上皮化生細胞)
2. LSIL (軽度異形成)
3. HSIL (中等度異形成)
4. HSIL (高度異形成)
5. 扁平上皮癌

問題 2 ①45歳・女性 ②帯下 ③子宮腔部・ブラシ擦過

1. NILM (レプトトリックス)
2. NILM (ガードネレラ)
3. NILM (カンジダ感染)
4. LSIL (軽度異形成)
5. HSIL (中等度異形成)

問題 3 ①56歳・女性 ②不正出血 ③子宮頸管・ブラシ擦過

1. NILM (頸管腺細胞)
2. NILM (慢性頸管炎)
3. 扁平上皮癌
4. 上皮内腺癌
5. 腺癌

問題 4 ①45歳・女性 ②不正出血 ③子宮頸管・ブラシ擦過

1. NILM (修復細胞)
2. HSIL (上皮内癌)
3. 扁平上皮癌
4. 腺癌
5. 小細胞癌

問題 5 ①36歳・女性 ②検診 ③子宮腔部・ブラシ擦過

1. NILM (傍基底細胞)
2. NILM (組織球)
3. LSIL (軽度異形成)
4. HSIL (高度異形成)
5. 扁平上皮癌

問題 6 ①50 歳・女性 ②検診 ③子宮腔部・ブラシ擦過

1. NILM (頸管腺細胞)
2. NILM (修復細胞)
3. HSIL (中等度異形成)
4. 扁平上皮癌
5. 腺癌

問題 7 ①53 歳・女性 ②不正出血 ③子宮内膜・エンドサイト擦過

1. 増殖期子宮内膜
2. 分泌期子宮内膜
3. 複雑型子宮内膜増殖症
4. 類内膜腺癌 G1
5. 類内膜腺癌 G3

問題 8 ①37 歳・女性 ②不正出血 ③子宮内容物・捺印

1. 増殖期内膜
2. 絨毛細胞
3. 類内膜腺癌 G3
4. 癌肉腫
5. 絨毛癌

問題 9 ①58 歳・女性 ②不正出血 ③子宮内膜・ブラシ擦過

1. 修復細胞
2. 萎縮内膜
3. 結核性内膜炎
4. 子宮内膜増殖症
5. 類内膜腺癌 G1

問題 10 ①33 歳・女性 ②腹部腫瘤 ③卵巣腫瘤・捺印

1. 漿液性腺癌
2. 明細胞腺癌
3. 顆粒膜細胞腫
4. ディスジャーミノーマ
5. 卵黄囊腫瘍

問題 11 ①19 歳・女性 ②胸部 X 線異常影 ③気管支・ブラシ擦過

1. 肺真菌症
2. 過誤腫
3. 脂肪腫
4. 腺癌
5. 扁平上皮癌

問題 12 ①62 歳・男性 ②咳嗽 ③気管支・ブラシ擦過

1. 扁平上皮化生細胞
2. 腺癌
3. 小細胞癌
4. 大細胞癌
5. 扁平上皮癌

問題 13 ①73 歳・男性 ②血痰 ③気管支・洗浄液

1. 杯細胞増生
2. 硬化性血管腫
3. 腺癌
4. 扁平上皮癌
5. 転移性腫瘍 (大腸癌)

問題 14 ①75 歳・男性 ②検診 ③自然尿

1. 反応性異型
2. 尿路上皮癌 (低異型度)
3. 尿路上皮癌 (高異型度)
4. 扁平上皮癌
5. 腺癌

問題 15 ①82 歳・男性 ②腎腫瘤 ③腎腫瘤・捺印

1. オンコサイトーマ
2. 血管筋脂肪腫
3. 尿路上皮癌 (低異型度)
4. 集合管癌
5. 腎細胞癌 (淡明細胞癌)

問題 16 ①72 歳・男性 ②黄疸 ③胆管・ブラシ擦過

1. 再生上皮細胞
2. 腺腫
3. 腺癌
4. 扁平上皮癌
5. 腺扁平上皮癌

問題 17 ①55 歳・女性 ②乳腺腫瘤 ③乳腺腫瘤・穿刺吸引

1. 葉状腫瘍
2. 乳管内乳頭腫
3. 浸潤性乳管癌
4. 浸潤性小葉癌
5. 扁平上皮癌

問題 18 ①45 歳・女性 ②甲状腺腫脹 ③甲状腺・穿刺吸引（不適切問題）

1. 慢性甲状腺腫
2. 亜急性甲状腺炎
3. 腺腫様甲状腺腫
4. 乳頭癌
5. 髓様癌

選択枝 1 「慢性甲状腺炎」とすべき所、「慢性甲状腺腫」と誤記が判明したため不適切問題として全員正解（加点）にしました。

問題 19 ①21 歳・男性 ②頸部リンパ節腫脹 ③リンパ節・捺印

1. 非特異性リンパ節炎
2. 壊死性リンパ節炎
3. サルコイドーシス
4. 転移性腺癌
5. ホジキンリンパ腫

問題 20 ①48 歳・女性 ②腹部膨満感 ③腹水・穿刺吸引

1. 反応性中皮細胞
2. 明細胞腺癌（卵巣）
3. 高分化腺癌（大腸）
4. 印環細胞癌（胃癌）
5. 悪性中皮腫

<鏡検問題> ①年齢・性別 ②臨床情報 ③検体・採取法
歯科

問題 1 ①40歳・男性 ②舌縁部潰瘍 ③ブラシ擦過

1. 舌炎
2. 扁平苔癬
3. 過角化症
4. 上皮異形成
5. 扁平上皮癌

問題 2 ①63歳・女性 ②頬粘膜白色病変 ③綿棒擦過, (Pap, Giemsa 染色)

1. 頬粘膜炎
2. カンジダ感染
3. ヘルペスウイルス感染
4. 過角化症
5. 扁平上皮癌

問題 3 ①25歳・女性 ②下顎骨内病変 (エックス線透過像) ③穿刺吸引

1. 顎放線菌症
2. エナメル上皮腫
3. 角化嚢胞性歯原性腫瘍
4. 顎骨中心性扁平上皮癌
5. 顎骨中心性粘表皮癌

問題 4 ①37歳・女性 ②耳下腺腫瘍 ③穿刺吸引

1. 多形腺腫
2. ワルチン腫瘍
3. 腺様嚢胞癌
4. 腺房細胞癌
5. 唾液腺導管癌

問題 5 ①65歳・男性 ②頸部腫瘍 ③捺印 (PAP, Giemsa 染色)

1. サイトメガロウイルス感染
2. 多形腺腫
3. ワルチン腫瘍
4. 転移性扁平上皮癌
5. ホジキンリンパ腫

問題 6 ①77 歳・女性 ②頬粘膜白色病変 ③ブラシ擦過

1. 過角化症
2. 軽度異形成
3. 高度異形成
4. 扁平上皮癌
5. 腺癌

問題 7 ①55 歳・女性 ②下顎歯肉腫瘍 ③捺印

1. 歯肉炎
2. 扁平苔癬
3. 扁平上皮癌
4. ホジキンリンパ腫
5. 非ホジキンリンパ腫

問題 8 ①79 歳・男性 ②口底部腫瘍（長径 25mm）③初診時のブラシ擦過
次に行うべきことを選べ

1. 経過観察
2. ステロイド塗布
3. レーザー焼灼
4. 生検
5. 全切除

問題 9 ①59 歳・男性 ②頸部リンパ節腫大 ③穿刺吸引

1. 結核性リンパ節炎
2. 非特異性リンパ節炎
3. 悪性リンパ腫
4. 転移性腺癌
5. 転移性扁平上皮癌

問題 10 ①59 歳・男性 ②耳下腺腫瘍 ③穿刺吸引

1. 多形腺腫
2. ワルチン腫瘍
3. 粘表皮癌
4. 腺房細胞癌
5. 腺様嚢胞癌

問題 11 ①68 歳・女性 ②歯肉腫瘍 ③擦過

1. 歯肉炎
2. 放線菌症
3. 扁平苔癬
4. 上皮異形成
5. 扁平上皮癌

問題 12 ①68 歳・男性 ②舌白色病変 ③ブラシ擦過

1. カンジダ感染
2. 過角化症
3. 軽度異形成
4. 高度異形成
5. 扁平上皮癌

問題 13 ①34 歳・男性 ②下顎骨内病変 ③捺印

1. 歯根嚢胞
2. エナメル上皮腫
3. 角化嚢胞性歯原性腫瘍
4. 顎骨中心性粘表皮癌
5. 顎骨中心性扁平上皮癌

問題 14 ①89 歳・女性 ②下顎歯肉びらん ③擦過

1. 尋常性天疱瘡
2. ヘルペスウイルス感染
3. サイトメガロウイルス感染
4. 粘表皮癌
5. 扁平上皮癌

問題 15 ①74 歳・女性 ②歯肉びらん ③ブラシ擦過

1. 再生上皮細胞
2. カンジダ感染
3. 軽度異形成
4. 高度異形成
5. 扁平上皮癌

問題 16 ①39 歳・女性 ②耳下腺腫瘍 ③穿刺吸引

1. 壊死性唾液腺化生
2. 多形腺腫
3. 粘表皮癌
4. 腺房細胞癌
5. 腺様嚢胞癌

問題 17 ①47 歳・女性 ②舌根部腫瘍 ③捺印

1. 多形腺腫
2. ワルチン腫瘍
3. 粘表皮癌
4. 腺房細胞癌
5. 腺様嚢胞癌

問題 18 ①71 歳・男性 ②耳下腺腫瘍 ③穿刺吸引

1. 耳下腺炎
2. 多形腺腫
3. ワルチン腫瘍
4. 腺房細胞癌
5. 悪性リンパ腫

問題 19 ①79 歳・男性 ②舌腫瘍 ③ブラシ擦過

1. 舌炎
2. 扁平苔癬
3. 過角化症
4. 上皮異形成
5. 扁平上皮癌

問題 20 ①91 歳・女性 ②歯肉白板病変 ③ブラシ擦過

1. 扁平苔癬
2. 過角化症
3. 軽度異形成
4. 高度異形成
5. 扁平上皮癌